

中学部だより



茨城県立大子特別支援学校/中学部7月 臨時号

<7月7日～8日に中学部1年生が防災宿泊学習を行いました。>

1年生の防災宿泊学習に合わせて、7日は「防災デイ」として全校で防災に関する学習を行いました。中学部は午前中に非常食体験や、動画での災害体験、応急手当体験、担架体験を行い、午後は防災士さんを招いて段ボールベットの組み立て体験や、簡易トイレの体験学習を行いました。

<非常食体験> 紙で折って使い捨て食器を作り、アルファ米の味見をしました。



<動画での災害体験> 2、3年生はVRゴーグルを使用して浸水被害の体験をしました。



<担架体験> みんなで力を合わせて担架を持ち上げました。



<応急手当体験> 養護教諭から腕や足の手当ての仕方を学びました。



<防災士さんを招いての体験活動>

たくさんの防災用品を準備、展示していただき、自由に手にとり、質問することができました。



簡易トイレの仕組みや、ペットボトル水道の作り方を教えていただきました。



力を合わせて段ボールベッドを組み立てました。段ボール一枚でも寝心地に違いがあることを実感しました。



1年生は 電気、ガス、水道が使用できない設定で校内に宿泊をしました。



7/7防災デイの様子が LuckyFM 茨城放送のニュースで取り上げられました。小学部、中学部の代表が取材を受け、アルファ味の味や段ボールベッドの組み立ての感想などを元気に答えました。宿泊では、ソーラーライトや、清拭用品を利用して、不便ながらも不安になることなく過ごすことができました。